

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		環境美化事業		担当課
				生活環境課
総合計画	政策	くらしの基盤		計画期間
	施策	環境にやさしい生活の創出		種別
	基本事業（取組）	環境保全活動の推進		市民協働
市民協力		事業協力		
予算科目コード		01-040103-08 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
各地区での空き缶拾いに端を発し、昭和59年から地域ぐるみの環境美化推進事業として、全ての自治会・町内会に協力を呼びかけ、市内全域で実施されている。	・6月・9月・12月（第1日曜日）の年3回、市内全域の地域住民により、周辺道路や公園等の清掃活動を実施する。 ・各地区での清掃活動が円滑に行われるよう、ホームページや広報紙等で市民に周知するとともに、各地区の区長等に対する実施依頼やごみ袋の配布、ごみの回収等を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
各地区において、地域住民が自主的に環境の美化活動に取り組むことで、良好な住環境が保全される。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民や事業者の生活環境に対する意識の向上を図り、快適な生活環境を保全する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
市内の全自治会・町内会が実施しており、良好な生活環境の保全に大きく貢献しているが、天候によりごみ収集量が左右される状況にある。 なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症が拡大する以前の状況に近づき、活動を自粛していた自治会・町内会が再開したことから、収集量は令和3年度と比べて約2倍に増加している。	・6月・9月・12月の第1日曜日（市内一斉環境美化の日） ※ 毎年3月の第1日曜日に実施している「利根川河川敷クリーン作戦」は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、令和3年度・令和4年度ともに実行委員会の役員と市役所生活環境課職員のみで実施した。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
市内全域を対象に市民による美化活動が年3回実施され、令和4年度は31.4t（3回）のごみが収集されている。 市民の美化活動への啓発という役割もあり、継続して実施することが必要であり、ごみ収集量の増加を図るため、設定日以外に自治会・町内会独自の美化活動が展開されるよう周知していく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	ごみ袋代と収集運搬に要する経費のみであり、コストの増減はないため、現状維持とする。

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一部の自治会・町内会が活動を自粛したため、令和3年度の回収量は前年度から約3割減少している。 清潔な環境を維持するためには、自主活動や自治会・町内会独自の清掃活動が必須であるため、新型コロナウイルス感染症が収束した際には、活動再開に向けて、自治体・町内会とそれぞれの市民の参加率の向上が必要である。	各自治会・町内会での美化活動が円滑に行われるよう、区長への依頼や広報活動、ごみ袋の配布、集積されたごみの回収等を行った。 また、前回までの回収量（直近3回分）について、ホームページで作業実績を周知することで、環境の美化に係る意識の高揚を図った。 なお、利根川河川敷クリーン作戦については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況と感染リスクを考慮し、令和3年度に引き続き、実行委員会の役員と生活環境課職員のみで実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
年間ごみ収集量（環境美化の日）（kg）	22,030.00	22,070.00	34,930.00	22,030.00	15,410.00	31,390.00	30,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
■向上 □横ばい □低下	新型コロナウイルス感染症の影響が緩和したことにより、各町内会・自治会の活動が通常どおりに戻りつつあることから、回収量は前年の約2倍となり、目標値も上回っている。 【収集量】 ・令和4年度 31,390kg（6月 10,460kg、9月 9,650kg、12月 11,280kg） ・令和3年度 15,410kg（6月 4,390kg、9月 890kg、12月 10,130kg）						
今後の事業の方向性（→その理由）							
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	多くの市民が参加しており、環境美化に対する市民意識の向上が図られている。今後もこの事業を継続して実施していく。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	616	683	747	818	818
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	616	683	747	818	818
正職員人工数（時間数）		79.00	138.00	97.00	100.00	0.00
正職員人件費		320	534	374	0	0
トータルコスト		936	1,217	1,121	818	818